

報道関係者各位

2007年1月16日

東洋ビジネスエンジニアリング株式会社

代表者名 取締役社長 千田 峰雄

SOAに基づく柔軟で使いやすいERPの提供に向け、 東洋ビジネスエンジニアリング(B-EN-G)がERPのフロントエンドに the 2007 Microsoft® Office system を積極採用

東洋ビジネスエンジニアリング株式会社(本社:東京都千代田区、取締役社長:千田峰雄、以下B-EN-G)は、企業におけるSOA(Service Oriented Architecture)化を進めるにあたり、ERPのフロントエンドに 2007 Office systemを積極的に採用する方針を決定したことを発表いたします。

■Microsoft Office systemをERPのフロントエンドに採用するメリット ■

ERPパッケージをベースとした基幹業務システム(以下ERP)の導入では、ユーザからのデータ入力を受け取り、結果を出力するフロントエンド部分に、ERP独自のユーザインターフェース(UI)が用いられるケースが一般的です。ERPのUIでは、多岐にわたる機能を実現する必要性から複雑になりがちであり、一定期間の導入前教育、場合によっては専門のトレーニングの受講も必要となります。

一方、一般に普及率が高く、操作に慣れているソフトウェアと言え、Microsoft Office Excel®やMicrosoft Office Word などに代表されるマイクロソフト社のOffice system製品です。企業内では、ERPへの入力情報と同等なデータが、別の用途のためExcelで作成される場合が多く見受けられます。Excel入力とERP入力が同時に行え、ERP出力をそのままExcelで利用できれば、操作教育のためのコスト削減と合わせて業務の効率化が期待できます。

■SOA化に向けた動きと 2007 Office systemの採用の関係■

昨年、「既存のIT資産を活かす」、「経営環境変化に柔軟に対応する」という目標を掲げ、SOAアプローチによるERP導入を指向する企業が多くなってきました。ERP製品を提供しているSAP社やオラクル社においては、SOAを実現するプラットフォーム戦略の中でWebサービスなどのテクノロジーを採り入れています。

そして、マイクロソフト社の最新版 2007 Office systemでは、データ形式を全面的にOpenXMLファイル形式ベースとした上で、SOAの標準テクノロジーを採用しています。プラットフォームに依存せず、容易に他システムとデータの受け渡しができる構造となっています。

ERP、2007 Office systemを連携する場合、ユーザインターフェースの使いやすさとともに、連携製品固有の仕様に縛られず、変化に柔軟に対応できる基幹システムが実現します。

■ B-EN-Gが提供するソリューション ■

B-EN-Gは、SAP社のR/3(現mySAP ERP2005)の導入支援サービスを1992年から開始して以降も、オラクル社のOracle E-Business Suite、自社開発のMCFrameをラインアップに加えてまいりました。その中で、「より使いやすいユーザインターフェース」をご提供するために、これらERPとExcelを組み合わせたソリューションを開発し、製薬業、建設業をはじめとする数多くのお客様にご利用いただいております。また、MCFrameにおいても、既にExcelとの強力な連携機能を標準装備しております。

B-EN-Gは昨年、社内にエンタープライズSOAコンピテンスセンターを組織し、ERPとその他のシステムが柔軟に連携する次世代IT基盤の構築サービス提供を開始しました。活動の一環として、マイクロソフト社のSOA化に向けた製品開発にいち早く注目し、同社より最新の情報提供を受けながら、ERPと同製品を連携した新ソリューションの開発に力を入れてまいりました。新しいソリューションには、2007 Office systemのSOA対応機能が最大限に活かされています。

■ 今後の展開 ■

近々には、新ソリューションを発表し、ERPを導入済みの企業、または、ホストコンピュータからの切り替えを予定している企業から順次営業を開始する予定です。

■ マイクロソフト社からのエンドースメント ■

「この度は東洋ビジネスエンジニアリング様の ERP ビジネスのフロントエンドとして 2007 Office system を採用いただき、誠にありがとうございます。本採用はマイクロソフトの「People - Ready ビジネス」ビジョンを具現化するための画期的な取り組みであり、SAP 社と共同で発表いたしました「Duet for Microsoft Office and SAP」の考え方を拡張して、お客様に更に使いやすい ERP 環境の提供を実現すると確信しております。マイクロソフトは、今回の東洋ビジネスエンジニアリング様との新たな協調関係を通して、お客様のビジネスの価値を最大限に高めるお手伝いをしていきます。」

マイクロソフト株式会社 執行役 専務 エンタープライズビジネス担当 平井康文

以上

■ 東洋ビジネスエンジニアリング株式会社について (<http://www.to-be.co.jp/>)

東洋ビジネスエンジニアリング(B-EN-G)はIT企画、BPR実施のビジネスコンサルティング、IT導入コンサルティングから、システム構築サービス、運用サービスにわたり、ERPを中心に豊富な実績を有するビジネスエンジニアリング企業です。またERPをベースとしたSCM、CRM導入支援ならびに中国を初めとしたグローバル展開支援での実績を積み重ねています。

■ 報道関係者様からのお問い合わせ先

東洋ビジネスエンジニアリング(株) 業務管理本部 広報 猪野 肇

電話:03-3510-1615 / FAX:03-3510-1624 / E-mail:www@to-be.co.jp

■ お客様からのお問い合わせ先

東洋ビジネスエンジニアリング(株) エンタープライズSOAコンピテンセンター

電話:03-3510-1622 / FAX:03-3510-1626 / E-mail:esoa@to-be.co.jp